

赤潮情報第57号

(八代海：カレニア ミキモトイ、シャットネラ属、コクロディニウム警報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

カレニア ミキモトイが最大27000細胞、嚴重な警戒が必要です。

本日、熊本県、天草市、海水養殖組合、漁業者グループ、水産技術研究所等が調査したところ、カレニア ミキモトイが海水1mL 当たり**最大27000細胞** 確認されました。楠浦、御所浦、龍ヶ岳、芦北、津奈木、水俣の各地先で非常に高い細胞数が確認され、被害が拡大するおそれがあるため、嚴重な警戒が必要です。

シャットネラ属は、八代海北部で**最大 170 細胞**確認されました。今後の海況によっては再び増殖するおそれがありますので、引き続き警戒が必要です。

コクロディニウムは、本日の調査では確認されませんでした。

カレニア ミキモトイやシャットネラ属は有害で、魚類や貝類などをへい死させる恐れがありますので、周辺海域で養殖・蓄養をされている場合は、**餌止めや粘土散布、状況に応じて緊急出荷等の対策**を行うとともに、海の色の変化や養殖魚等の状態に注意してください。

※数字は左から順にカレニア ミキモトイの水深0m, 5m, 10m層の海水1mL 当たりの細胞数です。
()の数字はシャットネラ属。【採水時刻】

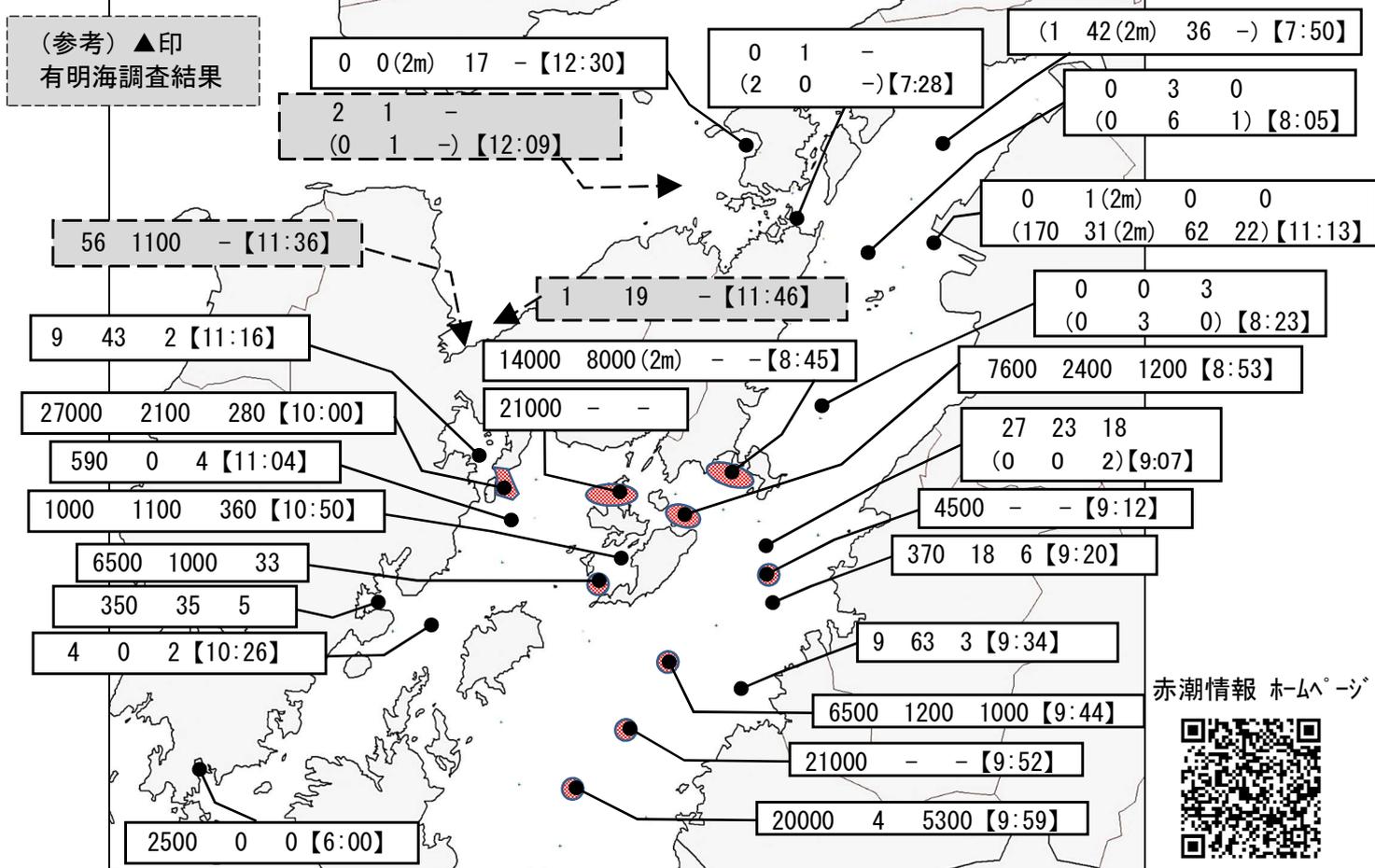


図 赤潮発生海域

※ はカレニア ミキモトイによる着色域です

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください (ホームページの更新に時間を要する場合があります)。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1

赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット

